

令和6年度 新潟県立図書館 運営基本方針重点目標に係る評価(案)

1 評価項目(指標)

(1) 基本方針1 地域社会への貢献

指 標	目 標	実績(4~1月)	見込(2~3月)	計	達成率	評価
ア ギャラリー展示の利用所属数 [県行政連携]	32所属	5 所属	0 所属	36 所属 ※重複除く	113%	A
イ コーナー展示の利用所属数 [県行政連携]		12 所属	2 所属			
ウ 県所属向け図書貸出の利用所属数		15 所属	2 所属			
エ 越後佐渡 DL アクセス件数	23,500 件	18,692 件	2,862 件	21,554 件	92%	B
オ 郷土人物/雑誌記事索引DB アクセス件数	12,600 件	9,466 件	1,226 件	10,692 件	85%	C

(2) 基本方針2 県内図書館への貢献

指 標	目 標	実績(4~1月)	見込(2~3月)	計	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	13,000 冊	10,914 冊	1,637 冊	12,551 冊	97%	B
イ 高等学校図書館への協力貸出冊数	500 冊	1,605 冊	3 冊	1,608 冊	322%	A
ウ 全体研修会・研究集会の参加人数 [県内図書館等職員対象]	350 人	260 人	90 人	350 人	100%	A
エ 個別研修の実施回数 [県内図書館等職員対象]	10 回	12 回	1 回	13 回	130%	A

(3) 基本方針3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指 標	目 標	実績(4~1月)	見込(2~3月)	計	達成率	評価
ア 入館者数	400,000 人	252,766 人	34,124 人	286,890 人	72%	D
イ 個人貸出冊数	415,000 冊	314,523 冊	47,178 冊	361,701 冊	87%	C
ウ 電子書籍閲覧回数	36,000 回	17,730 回	2,660 回	20,390 回	57%	E
エ レファレンス協同DB 登録件数	40 件	0 件	40 件	40 件	100%	A
オ 絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数	79,000 冊	59,810 冊	8,971 冊	68,781 冊	87%	C
カ SNS の投稿回数	120 回	107 回	18 回	125 回	104%	A
キ 外部講師による研修の参加回数	40 回	49 回	1 回	50 回	125%	A
ク 職員が講師を務める館内研修の回数	4 回	4 回	0 回	4 回	100%	A

2 図書館協議会による評価

上記評価項目について、図書館協議会委員による外部評価を実施する。

令和6年度新潟県立図書館運営基本方針 重点目標に係る取組状況(実績・見込)

基本方針1 地域社会への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90～100% 3=80～90% 2=70～80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A＝成果を上げている (4.5以上)、B＝順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C＝概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D＝順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E＝事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（4～1月）	見込（2～3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	・ 県各部局への周知 ・ 展示の実施	県立図書館を利用した所属数	32所属	○ ギャラリー展示は一般県民の利用とのバランスも図りながら、行政連携の充実に向けて各部局等へのPRに取り組んだ。 ＜実績＞ 4月 観光文化スポーツ部文化課「新潟出版文化賞受賞作品展」 7月 土木部道路建設課「にいがた「道」フォトコンテスト作品展」 7月 土木部河川管理課「7.13水害20年プロジェクト巡回パネル展」 11月 農林水産部林政課「にいがたフォレストリーマガジン写真展」 12月 環境局資源循環推進課「「海洋プラスチックごみ」削減パネル展」	32所属 内訳： ・ ギャラリー展示5所属 ・ 図書コーナー設置12所属 ・ 図書貸出15所属 ※重複除く	4所属 内訳： ・ ギャラリー展示0所属 ・ 図書コーナー設置2所属 ・ 図書貸出4所属 ※重複除く	36所属 内訳： ・ ギャラリー展示5所属 ・ 図書コーナー設置14所属 ・ 図書貸出19所属 ※重複除く	達成率113% 評価（5） 100%以上	○ 行政連携展示のPRに取り組み目標を達成するとともに、図書館所蔵貴重資料等の展示も実施してギャラリー展示の充実に繋げた。 ○ ギャラリー展示に関連したテーマ展示も連携して実施し、情報発信の充実を図った。	A	
	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置	・ 県各部局への周知 ・ 展示の実施			○ 県施策に関する図書のPR展示について、県職員専用ポータルサイトで利用の呼びかけを行っている。申込があった所属に対しては展示に関する要望をできる限り聞き取り、設置後は展示の様子を撮影した写真や利用状況を共有することで、実施の意義や効果を感じてもらえるよう取り組んでいる。 ＜実績・予定＞ 4月 文化課、新潟県発達障がい者支援センターRISE 5月 環境対策課・愛鳥センター紫雲寺さえずりの里、県立歴史博物館 6月 健康づくり支援課、生活衛生課、防災企画課 7月 県立万代島美術館、防災企画課 8月 観光企画課、県立歴史博物館、県民生活課 9月 障害福祉課、新潟県消費生活センター、県民生活課 10月 防災企画課、健康づくり支援課、統計課、県立歴史博物館 11月 健康づくり支援課、県民生活課、県立万代島美術館 12月 県民生活課、空港課 1月 資源循環推進課 2月 県立近代美術館、県立万代島美術館、新潟県消費生活センター							
	県所属への図書貸出の実施	・ 県庁貸出の手続改善 ・ 県各部局への周知			○ 前年度に引き続き、県職員専用ポータルサイトでPRを行った。PRの内容について、利用する際のイメージがわかりやすいように、具体的な活用方法を示すなど修正を行った。 ○ 県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の更なる充実を目指し、運用改善を図っていく。					○ 継続して利用する所属のほかにも、ポータルサイトのお知らせを見て利用をしてみたいという所属もあった。今後も効果的な周知を行い、利用につなげていく。 ○ 県所属からは「課題の解決に役立った」というコメントがあり、活用がなされていることを実感することができた。		
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集と活用	・ 出版情報の多角的な把握 ・ 積極的収集と展示 ・ 書庫等の保存環境の整備 ・ 行政資料の収集・展示			○ 出版情報の収集から、資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んでいる。 ○ 昨年1月の能登半島地震以降中断していた閲覧室内でのテーマ展示を、7月から場所を移動し、転倒防止を施した上で再開した。再開後は県立歴史博物館の企画展「上杉謙信・景勝と越後の領主」「大・佐渡島展」と連携した展示を実施した。 ○ 当館主催の「地域映像の上映会」や文書館主催の歴史講演会の開催に合わせ、利用者の興味を引き出すテーマで展示を行い、郷土資料のPRに努めた。					○ 他機関事業と連携した展示を行うことで幅広い層へのアプローチにつながり、その結果、郷土資料の貸出実績は前年同期比でほぼ同程度を維持している。受入数も前年度並みであるが、引き続き出版情報の収集に力を入れ、より多くの郷土資料の提供に努める。 ○ 今年度は井上円了と巻菱湖の遺墨（掛軸）2点の寄贈を受け、1月に当館エントランスギャラリーで開催の「新春掛軸展」で展示した。		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	・ デジタル資料の追加 ・ 利用環境の整備 ・ 利用者へのPR	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	23,500件	○ デジタルライブラリーのトップ画面でデジタル化資料を様々な切り口で紹介しPRに努めるとともに、更新の都度、ホームページやSNSで情報発信を行った。またSNSでは、スレッド機能を利用したり、ユニークな画像を載せるなど、注目を集めるよう工夫した。 ○ 11月には、新潟県立自然科学館のイベントに県立図書館としてブースを出展し、デジタルライブラリーのPRポスターを掲示した。今後は県庁のポータルサイト等も活用し、新規利用者の開拓を図っていく。	18,692件	2,862件	21,554件 (前年度実績23,048件 対前年度比94%)	達成率92% 評価（4） 90～100%	○ アクセス件数は前年度比では減少したが、下半期は各種取組により、減少幅が縮小した。引き続き、SNS上でクイズ形式など人を惹きつける投稿を行って、実績の向上を図っていきたい。 ○ 今年度末に実施する新規資料のアップロードに際しても、積極的にデジタル化資料の魅力発信に努める。	B	
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	・ データの登録 ・ 県民へのPR	郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス件数	12,600件	○ 前年度から「としょかん探偵～データベース活用事例～」のページを新設し、県内の観光イベントやゆかりの人物をテーマにした調べ方を掲載し、ニュースの掘り起こしを試みている。 ○ 今年度もページの更新に加え、採録対象雑誌を追加し、データベースの充実に取り組んだ。また、更新の都度、ホームページやSNSで情報発信を行い、利用増加に努めた。	9,466件	1,226件	10,692件 (前年度実績12,104件 対前年度比88%)	達成率85% 評価（3） 80～90%	○ 新規データの追加時にSNS等で広報したもの、新規活用事例の公開が遅くなったこともあり、アクセス件数の増加につなげられなかった。 ○ 郷土に関する調査・研究に役立ち、かつ目的とする資料を効率よく検索できるデータベースの利点を、活用事例等を通じて今後とも周知に努める。	C	

基本方針2 県内図書館への貢献

・ 定量評価（5=100％以上 4=90～100％ 3=80～90％ 2=70～80％ 1=70％未満）

・ 総合評価（A＝成果を上げている（4.5以上）、B＝順調に進んでいる（3.5以上4.5未満）、C＝概ね順調に進んでいる（2.5以上3.5未満）、D＝順調に進んでいるとはいえない（1.5以上2.5未満）、E＝事業の見直しが必要（1.5未満））

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（4～1月）	見込（2～3月）	計	達成率	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等の貸出サービスへの支援	・ 県民へのPR ・ 小規模図書館等へのセット図書の貸出 ・ テーマ別セット図書の貸出	県内図書館等への協力貸出冊数	13,000冊	○ 協力貸出やセット図書長期一括貸出に加え、市町村図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行った。 ○ 電子書籍サービスの体験会では、県立図書館のサービスを説明する機会も多いことから、県民に対して相互貸借や遠隔地返却等のサービスについても、積極的にPRを行った。	10,914冊	1,637冊	12,551冊 (前年度実績12,538冊 対前年度比100%)	達成率97% 評価（4） 90～100%	○ 高等学校図書館への貸出が大幅に増加したことで前年度比実績では増加しているが、市町村図書館への貸出が年々減少している。セット貸出の評価や刷新の必要性を含め、聞き取り等により原因を分析し、改善可能な事項については随時対応していきたい。 ○ 今後も県立図書館の資料を市町村図書館から無料で取り寄せてできることを県民に向けてPRし、浸透を図っていきたい。 ○ テーマ別セット図書貸出サービスを利用する市町村図書館が増加した。定期的に利用される館もあるので引き続き周知につとめ、利用館を増やすような取組を続けていきたい。	B	
	県内図書館等からの相談対応	・ 内容に応じた適切な情報提供 ・ 相談・打合せなど、様々な機会を捉えた訪問の実施			○ 県内図書館等からの相談や照会について随時対応し、状況に応じて訪問やオンライン等で情報提供等の支援を行った。 【電話等による相談・照会等対応事例】 ・ 商業施設での読み聞かせ実演に係る著作権 ・ 県内の広域連携サービスの状況 ・ 逐次刊行物の複写の運用等 ・ 窓口での利用者対応 ・ 登録書式等の保存 【訪問相談の実績】 弥彦村図書館、十日町図書館、長岡市立中央図書館、上越市立高田図書館、村上市立中央図書館					○ 相談内容に応じた適切な回答や情報提供に努めるとともに、機会を捉えて各館を訪問するなどして、市町村支援の充実を図った。 ○ 次年度以降も県内図書館等からの要望に応えるとともに、定期的な訪問なども検討することによって、引き続き相談対応業務の充実を図っていく。		
	高等学校図書館への支援	・ 高等学校への訪問相談 ・ 協力貸出の推進	高等学校図書館への協力貸出冊数	500冊	○ 所在する自治体の公立図書館等が移転等により長期休館し、窓口での資料受取りができない県立学校を対象に、当該図書館の休館前後期間限定で直接学校へ資料を送付する運用を開始し、対象となる自治体内の県立学校へ周知した。 ○ 学校向け電子書籍サービスの説明会の際に、資料貸出サービスのPRも行った。	1,605冊	3冊	1,608冊 (前年度実績489冊 対前年度比329%)	達成率322% 評価（5） 100%以上	○ 学校への直接送付については、1月末現在で2自治体を対象であったが、2校の利用があり、ニーズがある事を確認できた。 ○ 県立学校司書の研修を通じ、学校司書のインターネット利用環境が不十分な場合もあるなど、学校司書まで当館のサービスの情報が届いていないことが把握できたため、すべての学校司書に届くサービスの周知方法を検討していきたい。	A	
県内図書館等職員の人材育成	県内図書館等職員対象の全体研修の実施	・ 図書館現場のニーズに沿ったテーマの設定 ・ 階層別研修等の実施 ・ オンラインとの併用	全体研修会・研究集会の参加人数	350人	○ 階層別研修・研究集会ともに、参加館のニーズに沿った内容で企画するとともに、オンラインも取り入れるなどして実施した。 <実績等> ①障害者サービス研修（第1回）（オンライン） 50人 ②新潟県公共図書館新任職員研修会 69人（1日目・会場20人 オンライン15人、2日目・会場20人 オンライン14人） ③新潟県公共図書館児童部門研究集会 41人 ④新潟県公共図書館中堅職員研修 34人 ⑤新潟県公共図書館総合部門研究集会（オンライン） 34人 ⑥障害者サービス研修（第2回）（オンライン） 32人 ⑦障害者サービス研修（第3回）（オンライン） ※以下2月以降予定 ⑧新潟県公共図書館専門職員研修会	260人	80人	350人 (前年度実績358人 対前年度比98%)	達成率100% 評価（5） 100%以上	○ 図書館現場のニーズに沿った研修テーマや内容で企画し、一層の研修効果が得られるよう調整した結果、多くの図書館職員に参加してもらうことができ、目標を達成した。 ○ 次年度以降も図書館サービスの向上につながるような研修を開催することによって、県内図書館サービスの充実につなげていく。	A	
	県内図書館等職員対象の個別研修の実施（メニュー数4）	・ 受講者アンケートの実施 ・ 研修内容の改善	個別研修の実施回数	10回	○ 各館の要望を踏まえて研修を準備・実施し、各図書館等のサービス向上を支援した。 <実績・予定> ①資料の修理や保存の基礎（新潟市立黒埼図書館） ②資料の修理や保存の基礎（刈羽村立図書館） ③郷土レファレンス（新潟県埋蔵文化財センター） ④燕市教職員研修・図書館担当者研修（燕市立吉田公民館） ⑤郷土レファレンス（長岡市立互尊文庫） ⑥郷土レファレンス（新発田市立歴史図書館） ⑦郷土レファレンス（南魚沼市図書館） ⑧地域資料の収集と管理の基礎（新発田市立中央図書館） ⑨郷土レファレンス（長岡市立南地域図書館） ⑩地域資料の収集と管理の基礎（弥彦村図書館） ⑪資料の修理や保存の基礎（燕市立図書館） ⑫郷土レファレンス（三条市立図書館） ⑬資料の修理や保存の基礎（新潟医療福祉大学図書館）	12回	1回	13回 (前年度実績10回 対前年度比130%)	達成率130% 評価（5） 100%以上	○ 研修受講者アンケートや市町村との意見交換等での要望を踏まえて、より実践的な研修を実施できるよう取り組んだ。 ○ 次年度以降も、ブロック規模の大会開催にあわせて市町村向け個別研修の更なる充実を図り、県内図書館サービスの充実につなげる。	A	

基本方針3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・ 定量評価（5=100％以上 4=90～100％ 3=80～90％ 2=70～80％ 1=70％未満）

・ 総合評価（A＝成果を上げている（4.5以上）、B＝順調に進んでいる（3.5以上4.5未満）、C＝概ね順調に進んでいる（2.5以上3.5未満）、D＝順調に進んでいるとはいえない（1.5以上2.5未満）、E＝事業の見直しが必要（1.5未満））

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（4～1月）	見込（2～3月）	計	達成率	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	県民の読書環境の整備	・利用しやすいレイアウト変更等 ・資料の充実 ・電子書籍サービスの充実 ・読書バリアフリー環境の充実	入館者数	400,000人	○ 前年度に引き続き、SNSによる情報発信の更新頻度を上げるとともに、電子書籍サービスの利用をきっかけに直接来館利用にもつながるよう、電子書籍の体験会では図書館サービス全般について広く説明を行った。 ○ 利用者満足度の向上のために、館内利用環境の整備を図りながら、目標の達成を目指した。	252,766人	34,124人	286,890人 (前年度実績315,342人 対前年度比91%)	達成率72% 評価（2） 70～80％	○ 受変電設備更新工事や停電による臨時休館があったほか、施設の維持管理費削減対策として休館日を増やさざるを得なかったこともあり、入館者数は目標に届かなかった。（開館日1日当りでは対前年度比99%） ○ 今後も、従来の図書館サービスに加えて電子書籍サービスや、コロナ以降控えていた連携イベント、ギャラリーや閲覧室内展示等をPRし、来館利用者の増加を目指して取り組んでいきたい。	D	
			個人貸出冊数	415,000冊	○ 資料費が年々削減されているが、今年度も限られた予算の中で効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や県各所属との連携展示を積極的に行って、資料の利用促進を図った。 ○ 厳しい予算状況ではあるが、市町村図書館から購入リクエストがあった場合は、県民のニーズに応えるため可能な限り購入するよう努めた。	314,523冊	47,178冊	361,701冊 (前年度実績416,761冊 対前年度比87%)	達成率87% 評価（3） 80～90％	○ 資料収集方針に沿って、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに展示等による資料のPRを行ったが、資料費削減による新刊購入冊数の減少の影響が大きかった。 ○ 今後も、来館利用者の興味を惹き、資料を手にとってもらえるよう展示のテーマや見せ方をより工夫して所蔵資料の有効活用を図るなど、資料の有効活用に取り組んでいきたい。	C	
			電子書籍閲覧回数	36,000回	○ 昨年度に引き続き、県内各所で県民向けの体験会を開催した。新潟市民芸術文化会館等のホールにも出向き、普段図書館を利用していない県民へ向けての周知にも取り組んだ。また、館内イベントや県内図書館職員の会議・研修会の際にも、電子書籍サービスのPRを行った。 ○ 県立学校に向けたサービスも昨年同様に実施しており、今年度は私立高等学校に対しても、学校向け電子書籍サービスの提供を開始した。 ○ トップページの本棚のテーマを3か月に1度変更した。また、12月に新着コンテンツを導入した際は、新着からのおすすめコンテンツを紹介したほか、HPのお知らせ欄やメールマガジン、館内配布チラシでもPRを行った。	17,730回	2,660回	20,390回 (前年度実績24,653回 対前年度比83%) ※令和6年7月11日よりサービス開始	達成率57% 評価（1） 70%未満	○ 受変電設備更新工事や停電による臨時休館中は、サーバーが稼働せずサービスが提供できなかったこともあり、目標に届かなかった。 ○ 体験会を開催する度に利用登録の申請があったが、閲覧回数の増加には直接結びつかなかった。オンラインでの利用登録申請も継続してあることから、コンテンツの魅力の発信等を通じて、サービスの継続利用につなげていきたい。 また、体験会ではサービス自体を知らない県民の方が大半であったため、全県的にサービスの再周知を行いたい。 ○ 新規コンテンツの購入にあたり、県財政当局との協議に時間を要し、購入・公開が予定通りに実施できず、広報も一部しかできなかった。未実施の広報を来年度に展開できるよう取り組んでいきたい。 ○ 学校向けの出張説明会を実施し、学校図書館現場の意見を聞くことができたため、今後の学校向けサービスの充実に活かしていきたい。	E	
			県内の読書バリアフリー環境の充実		○ 県視覚障害者情報センターと連携して市町村図書館職員向けの障害者サービス研修を行い、県内における障害者サービスのボトムアップを図った。 ○ 資料費の限られる中で、読上げ、白黒反転表示等のバリアフリー機能を持つ電子書籍や大活字本、LLブック、触る絵本等の障害者サービス用資料の充実を図った。 ○ 電子書籍の体験会では、ニーズに合わせてサビエのPRも行った。 ○ 民間の福祉関連イベントに出向き、障害者サービスのPRを行った。					○ 対面朗読サービスや音声デジiserが継続して利用されている。今後も広報を続けて普及を図っていく。 ○ 利用者が視覚障害の有無にかかわらず、触る絵本を借りて行くような状況も生まれている。障害者サービスへの理解・普及のためにも、引き続き資料を充実させていきたい。		
	県民の調査研究活動の支援	・調査相談（レファレンス）機能の向上 ・県民へのPR	レファレンス協同データベースの登録件数	40件	○ 利用者から寄せられた調査相談から、主に郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動に資するものや関心が高い事例を精査して登録を行っている。 ○ 調べ方マニュアルについても、新たに登録を行う予定にしている。	0件	40件	40件 (前年度実績44件 対前年度比91%)	達成率100% 評価（5） 100％以上	○ スケジュール通りに作業を進め、登録事例を選定・精査しつつデータを作成した。県民の調査研究活動を支援するため、引き続き目標件数を達成するよう取り組んでいきたい。	A	
	読書による子育て応援	・こども向けイベントの実施 ・利用環境の整備	絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数	79,000冊	○ こども図書室内に、赤ちゃん絵本のコーナーを新設した。室内はマット敷で寛げるようになっており、ゆったり絵本を選んだり、読み聞かせを楽しむことができる空間を提供している。 ○ ボランティア及び職員による定例の読み聞かせイベントの継続実施に加え、新規の図書館利用増を目指して、こむすびルーム関連のイベントに合わせて、職員によるおはなし会を開催した。	59,810冊	8,971冊	68,781冊 (前年度実績77,650冊 対前年度比89%)	達成率87% 評価（4） 90～100％	○ 資料費減によって所蔵資料全体の魅力が低下しているため、こども連れの親を含めた入館者数や個人貸出冊数も減少しており、目標達成が困難な状況になっている。図書館利用の全体的な減少に歯止めをかけることはできなかった。 ○ こむすびルーム開設イベントをきっかけに、利用登録につながった事例もあった。また、開設イベントに合わせて開催したおはなし会は、通常の倍以上の参加があった。 ○ 次年度以降も、こむすびルームやイベントと連動した児童サービスの充実を図っていきたい。	C	
	SNSによる情報発信	・投稿内容の充実 ・効果的な情報発信	SNSの投稿回数	120回	○ SNSの特性を活かした投稿を工夫し、フォロワーの増加や県内図書館のフォロー、リポスト機能等による情報の拡散・周知に取り組んだ。	107回	18回	125回 (前年度実績123回 対前年度比102%)	達成率104% 評価（5） 100％以上	○ イベント情報や電子書籍サービスのPRをSNSを活用して発信するなど、若年層に向けた周知に取り組んだ。 ○ 次年度以降も、図書館の情報発信に積極的に取り組んでいく。	A	

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（4～1月）	見込（2～3月）	計	達成率	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の育成	職員の研修機会の充実	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	外部講師による研修の参加回数	40回	○ オンライン研修を活用して、臨時休館期間中には研修受講を奨励するなどして、目標達成に努めた。 <主な実績> ・にいがたPPP/PFI研究フォーラム ・2024年度サビエ研修会（オンライン） ・障害者サービス担当職員養成講座（入門）（オンライン） ・関東地区公共図書館協議会研究発表大会（集合、オンライン） ・こども読書レベルアップ研修会 理論・知識編（オンライン） ・特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」（オンデマンド） ・こども読書レベルアップ研修会 実践・演習編 ・未来の図書館研究所オープンレクチャー ・国立国会図書館資料保存研修 ・JLA認知症バリアフリーオンライン講座 ・全国図書館大会 ほか	49回	1回	50回 (前年度実績43回 対前年度比116%)	達成率125% 評価（5） 100%以上	○ 全国規模の研修・会議等へもオンラインを活用して参加するなど、機会を確保して司書職員の能力向上を図った結果、目標を達成した。 ○ オンライン等を活用するなどにより、次年度以降も研修の参加機会を確保し、図書館サービスの向上を図っていく。	A	
			職員が講師を務める館内研修の実施回数	4回	○ 職員が講師を務め、「レファレンス研修」「障害者サービス研修」「図書修理研修」「郷土資料研修」を実施した。	4回	0回	4回	100%	○ 四つのテーマのうち、希望する研修の一つ受講することで、図書館業務のスキルアップにつながった。また、講師を務める職員は、講義を行うことで知識の定着が図られ、発表のスキルアップにつながった。 ○ 一方で受講後のアンケートでは、難易度や実施方法、今後の研修テーマについて意見が寄せられ、課題が残った。 ○ 次年度計画の立案に当たっては、アンケート結果をもとに内容を改善し、県内公共図書館職員向け研修での講師となる人材を育成する。	A	

新潟県立図書館運営基本方針（令和 6 年度～令和 8 年度）

1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

○県の行政施策と連携した取組

- ・ 県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催
- ・ 県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・ 県所属への図書貸出の実施

○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・ 新潟県関係資料の積極的収集と活用
- ・ 越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・ 郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・ 県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・ 県内図書館等からの相談対応
- ・ 高等学校図書館への支援

○県内図書館等職員の人材育成

- ・ 県内図書館等職員対象の全体研修の実施
- ・ 県内図書館等職員対象の個別研修の実施

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

○県民の読書環境の整備

- ・ 県民の読書環境の整備
- ・ 県民の調査研究活動の支援
- ・ 読書による子育て応援
- ・ SNS による情報発信

○県立図書館職員の能力の育成

- ・ 職員の研修機会の充実

新潟県立図書館運営基本方針(令和6年度～令和8年度)

基本方針1	地域社会への貢献	地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。
-------	----------	------------------------------------

重点目標 1 県の行政施策と連携した取組

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
1	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	県立図書館を利用した所属数		7所属	32所属	34所属	36所属	○ 展示についてはスペースや期間等の制約があるため現状維持とするが、図書貸出についてはPRを強化して利用増を目指す。
2	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置			14所属				
3	県所属への図書貸出の実施			14所属				

※90所属のうち、30所属が利用

重点目標 2 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
4	新潟県関係資料の積極的収集と活用							
5	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	12,000件	③10,434件 ④10,907件 ⑤23,280件 ※令和5年度はシステム更新に伴いカウント方法が変更	23,500件	23,750件	24,000件	○ 事業開始から現在までに蓄積したデータの利活用に重点を置いて取り組んでいく。 ○ 定期的な利用を促すためのコンテンツとして、特定の資料にスポットを当てて紹介するコーナーを展開する等、親しみやすいページ作りに取り組むとともに、現在公開している情報についても内容のさらなる充実を図り、利用の増加に繋げる。
6	郷土人物/雑誌記事索引DBの充実	郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5300件	③3,928件 ④4,442件 ⑤12,400件 ※令和5年度はシステム更新に伴いカウント方法が変更	12,600件	12,800件	13,000件	○ 引き続きデータの集積に取り組みスケールメリットを追及するとともに、新規データの公開時にはSNSを活用した広報を展開しアクセス件数の増加を目指す。 ○ 郷土に関する調査研究活動に有効なデータベースであることをPRし定期的な利用者の増加に繋げる。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

基本方針2	県内図書館への貢献	県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組めます。
-------	-----------	---

重点目標 3 県内図書館等が実施するサービスへの支援

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
7	県内図書館等の貸出サービスへの支援	県内図書館等への協力貸出冊数	17,000冊	③15,018冊 ④14,362冊 ⑤12,713冊	13,000冊	13,000冊	13,000冊	○ 資料費の削減により、購入資料点数が減少し、小規模図書館等セット図書の買い替えができないなど、厳しい状況である。手続きの簡便化や広報を強化することで、利用の継続を図る。
8	県内図書館等からの相談対応							
9	高等学校図書館への支援	高等学校図書館への協力貸出冊数	200冊	③108冊 ④442冊 ⑤487冊	500冊	500冊	500冊	○ 電子書籍の利用促進と共に、紙媒体の資料の貸出についても手続きの簡便化や広報を強化することで利用の継続を目指す。

重点目標 4 県内図書館等職員の人材育成

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
10	県内図書館等職員対象の全体研修の実施	全体研修会・研究集会の参加人数	200人	③188人 ④295人 ⑤347人	350人	350人	350人	○ 県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。
11	県内図書館等職員対象の個別研修の実施(メニュー数4)	個別研修の実施回数	10回	③12回 ④15回 ⑤10回	10回	10回	10回	○ 県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

基本方針3	県民の生涯にわたる学びへの貢献	誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。
-------	-----------------	---

重点目標 5 県民の読書環境の整備

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12	県民の読書環境の整備	入館者数	400,000人	③296,418人 ④297,012人 ⑤315,000人	400,000人	400,000人	400,000人	○ 休館日が増えることや資料費の削減等があるが、目標値はR5目標値の40万人を目指す。
		個人貸出冊数	450,000冊	③457,894冊 ④435,724冊 ⑤414,000冊	415,000冊	416,000冊	417,000冊	○ 子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
		電子書籍閲覧回数		27,000回 ※令和5年7月サービス開始	36,000回	36,000回	36,000回	○ 非来館型サービス充実のため、PRに努めて利用増を目指す。コンテンツ数の大幅な増加が見込めないことから、目標値は現状維持とする。
		県内の読書バリアフリー環境の充実						
13	県民の調査研究活動の支援	レファレンス協同DB登録件数	40件	③32件 ④40件 ⑤40件	40件	40件	40件	○ 郷土に関するテーマや県民の役に立つもの、汎用性があり調査研究活動を支援すると思われる事例を選定して登録していることから、目標値は現状維持とする。
14	読書による子育て応援	絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数		78,000冊	79,000冊	80,000冊	81,000冊	○ 子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
15	SNSによる情報発信	SNSの投稿回数	120回	③65回 ④124回 ⑤136回	120回	120回	120回	○ 若年層にも図書館や読書に関心を持ってもらえるように、お勧め本の紹介や周辺景観の話題等も合わせて積極的に発信していく。

重点目標 6 県立図書館職員の能力の育成

具体的取組		指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
16	職員の研修機会の充実	外部講師による研修の参加回数	40回	③49回 ④42回 ⑤43回	40回	40回	40回	○ 県立図書館職員のスキルアップが市町村図書館等支援の充実にもつながるため、司書職員全員が研修に参加できるよう環境を整備して取り組む。目標値は、司書正職員一人当たり2回以上研修に参加する回数を設定し、これを維持していく。
		職員が講師を務める館内研修の実施回数		2回	4回	4回	4回	○ それぞれの職員が、担当する業務などで得た知識について発表し、共有することで県立図書館職員のスキルアップを図る。目標値は4回(四半期に1回)とし、これを維持していく。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度



新潟県立図書館 預かり保育室「こむすびルーム」について

「子育てに優しい新潟県」の実現に向けた子育て応援事業として、館内に預かり保育室「こむすびルーム」を設置し、子育て世帯が安心して来館し、落ち着いて利用ができるよう、預かり保育サービスを開始した（令和 7 年 1 月 11 日開設）。

1 「こむすびルーム」の特長

県産材の床材を使用した約 100㎡、天井高 3.5m の広々とした空間で、窓からは鳥屋野湯公園の様子を見ることができ、自然を感じながら過ごすことができる。絵本や県産材の知育玩具を設置している。

2 預かり保育サービス（概要）

- ・実施日：毎週金曜日、土曜日開室
- ・預かり時間：1 日 3 回受付、1 回当たり最大 90 分
（午前①9:30～11:00 ②11:30～13:00 午後③14:00～15:30）
- ・定員：1 回につき最大 4 名
- ・サービスの利用対象：新潟県立図書館の利用カード（スマホ利用カードを含む）を持っている保護者
- ・預かり対象：生後 6 か月以上の未就学児
- ・運 営：専門の民間受託者が保育サービスを実施
- ・申込方法：県電子予約システムによる事前申込みが必要（定員に空きがある場合は当日受付可）

3 利用状況（1 月 11 日～2 月 1 日）

①9:30～11:00			②11:30～13:00			③14:00～15:30			計（①～③）		
定員	預かり 人数	稼働 率%	定員	預かり 人数	稼働 率%	定員	預かり 人数	稼働 率%	定員	預かり 人数	稼働 率%
24	21	87.5	28	14	50.0	28	13	46.4	80	48（※）	60.0

（※）子どもの体調不良等を理由とするキャンセル有。申込人数は 59 人。

4 利用者アンケート結果（回答期間 1 月 11 日～2 月 1 日・回答数 14 件）

- 【満足度】 ①満足：92.3% ②やや満足：8% ③やや不満：0% ④不満：0%
- 【利用時間】 ①長い：7.7% ②やや長い：0% ③ちょうど良い：58.5% ④やや短い：38.5%
⑤短い：0%
- 【再度利用】 ①したい：100% ②したくない：0% ③どちらとも言えない：0%

【利用者の声】（抜粋）

- ・子どもが生まれてからは、うるさくしたら困ると思い、図書館に行けませんでした。が、今回ゆったりした時間を過ごす事ができてとてもありがたかった。
- ・無料で預けられるので気軽に、自分の時間も持て、とても素晴らしいルームだと思います。
- ・ネットで予約でき、預け場所と親が時間を過ごす場所が同じ建物なので送迎に時間がかからないため、目一杯自分の時間にできる等、お願いするハードルが低くてとてもよかったです。
- ・育休中で 24 時間子どもと一緒にだったので、ひとときでも 1 人になれる時間があったとてもいい事業だと思いました。
- ・読みたかった育児本や雑誌がゆっくり読めて、ほっとできました。思ったより広くきれいで、職員さんたちも雰囲気が良くて息子を安心してみてもらえました。
- ・先生がベテランで信頼できます。とても広い空間で施設も新しくて綺麗です。木のおもちゃなど玩具も充実しています。
- ・先生方が優しく温かく迎えてくださって、子ども達も楽しかった、また行きたいと言っています。また利用させて頂きたいと思いました。

5 今後の課題

- ・効果的な広報を行い、利用を促進する。
- ・閉室日の利活用方法を検討する。



「林業次世代の集い」様
寄贈の知育玩具



県立図書館
子育て応援ページ